2017年12月5日（火曜日）の下野新聞に
第5回グッドライフアワードの受賞について
紹介されました！

環境大臣最優秀賞に

パン、食糧難地域に提供

那須塩原 アキモト

「救缶鳥プロジェクト」

環境省は4日までに、環境に優しい社会実現を目指した活動を顕彰する第5回グッドライフアワードに、パンの缶詰を製造するパン・アキモト（那須塩原市東小屋、秋元義彦社長）の「救缶鳥プロジェクト」を環境大臣賞の最優秀賞に選定した。

同社は1995年の阪神淡路大震災を機に防災備蓄食として賞味期限3年のパン缶詰を開発した。2009年からパン缶詰「救缶鳥」を販売し、賞味期限が残り1年になると備蓄してあった缶詰を下取りして食糧難の地域や国へ無償提供する同プロジェクトを始めた。救缶鳥は100グラムと200グラム入りがある。

非政府組織（NGO）日本国際飢餓対策機構などと連携した義援物資の提供は、これまで全国の被災地へ約15万個、国外には約22万個の計約74万食に上り、災害に備えながら国際的な社会貢献を実現する事業を展開している。

受賞は今月1日に決まったことから秋元社長は「12月1日は創業70周年。この記念すべき日にこのような素晴らしい賞をいただけたことは、日頃より皆さまに応援していただいているたものと感謝している」と話している。

賞は応募153件から実行委員会での審査とWEBサイト上での一般投票を参考に選ばれた。9日に表彰される。

（伊藤一之）

救缶鳥プロジェクトのパン缶詰

17年度グッドデザイン賞

エプロンなど3件受賞

本県関係

日本デザイン振興会の2017年度グッドデザイン賞が発表され、本県関係では3件が受賞した。

受賞したのは、ホームセンターのカンセキ（宇都宮市西川田本町3丁目）のアウトドア商品「キャンプエプロン」、保育事業を展開するキッズコーポレーション（同市南大通り2丁目）の保育園「大空と大地のなーさりぃ 下井草駅前園」、中山大輔建築設計事務所（同市インターパーク3丁目）の住宅「矢板・焼杉の家」。

キャンプエプロンはキャンプのとき、用具がすぐに取り出せるよう工夫された。テント設営時にはハンマーやペグ、たき火のときは火バサミやライター、着火剤などを装着でき、薪を運ぶ際も服が汚れずまとめて運べる。機能性とシンプルなデザインが評価された。

下井草駅前園は、都内の高密度な住宅街の変形した土地にある3階建ての保育園。高窓から空が見えるホワイエを設け、近隣と保育園の最適な「距離」を見いだした。

矢板・焼杉の家は、矢板

保育園「大空と大地のなーさりぃ 下井草駅前園」のホワイエ＝都内

カンセキの「キャンプエプロン」

「矢板・焼杉の家」＝矢板市、藤本一貴さん撮影

県フィルムコミッション

県内舞台4作品 ロケ地マップ発行

第8巻

県フィルムコミッション（FC）は、県内で撮影された映画ロケ地の情報などをまとめたパンフレット「とちぎ県ロケ地マップ」の第8巻を発行した。

「散歩する侵略者」で荒野の設定とした高根沢町のキリンビール工場跡地や、「アウトレイジ最終章OUTRAGE CODA」で銃撃戦の舞台となった宇都宮グランドホテル（宇都宮市）など、4作品のロケ地が紹介されている。

ロケ地付近のグルメ・観光情報も盛り込んだ。ロケ地で撮影した写真データをFCに送ると記念品などが当たる特典がある（28日締め切り）。1万部作製。A4判、フルカラー。「とちまるシ道の駅

とちぎ県 ロケ地マップ Vol.08